

リフォーム相談室カルテ

物件名：K様邸 物件コード：
所在地：札幌市

相談依頼者：
依頼者住所：札幌市

相談日：平成22年4月10日
天候：くもり

■リフォームの目的と現状

5寸5分の勾配がある三角屋根であり、道路側に傾斜した大屋根がかかっている。
札幌市建築条例による「雪の離れ」はクリアしているものの、現実には道路まで落雪する状態である。

依頼者宅は昨年、外部塗装を行い屋根面には2液ウレタン塗装を施工したが、滑雪状態は改善せず、たまった雪が一度に落雪する状態である。

リフォームの目的は、道路まで飛んでしまう落雪を、敷地内でおさまるように処理することが目的である。



■改善方法

板金を葺き替えて、スノーストッパーフーフやローザーフの使用が考えられるが、より確実な方法として、道路側小屋裏部分の構造体を2階桁付近まで増設し、無落雪屋根（スノーダクト屋根）に改造することを提案。

西側から見た立面図は下図のようになる。
（細かな部分は省略しているので、現場確認のこと）



■施工上の注意点

- 1) 外壁の張り替えを伴うので、既存サイディングとマッチする材料選択に難があるが、1本溝形式のサイディングなので、懸念するほどではないかもしれない。施工会社に入念に材料調査を依頼することが必要。
- 2) スノーダクト方式の屋根となるため、すが漏れのリスクが伴う。したがって、板金工事はより信頼のできる業者選定を行うことが大事。
- 3) スノーレーンが2カ所に分離され排水口も2カ所となるが、小屋裏で1本にまとめ、排水縦管は1カ所にすることが、スペース的にもコスト的にも必要。
- 4) 排水縦管の位置は、洋室Aの「ダンススペース」部分に通すことになると思うので家具配置など検討が必要。
- 5) 点検タラップの設置は必ず行う。

■その他必要な工事

- 1) 出窓の片開き窓の丁番調整が必要
- 2) 玄関ドアの気密性が悪くなっており、ゴムパッキン交換が必要